

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、
国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る
- 学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査の概要

I. 本体調査（悉皆調査）

- **令和3年度調査日：5月27日（木）**

※新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、調査日を例年より1か月余り後ろ倒しするとともに、後日実施の期間を約1か月間に延長。結果公表は**8月31日**。

- **令和3年度調査事項：**

- ① **教科に関する調査（国語、算数・数学）**
- ② **生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒／学校）**

- **調査対象：全国の小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒**
児童生徒 約200万人（小学校約2万校、中学校約1万校）

II. 経年変化分析調査・保護者に対する調査（抽出調査）

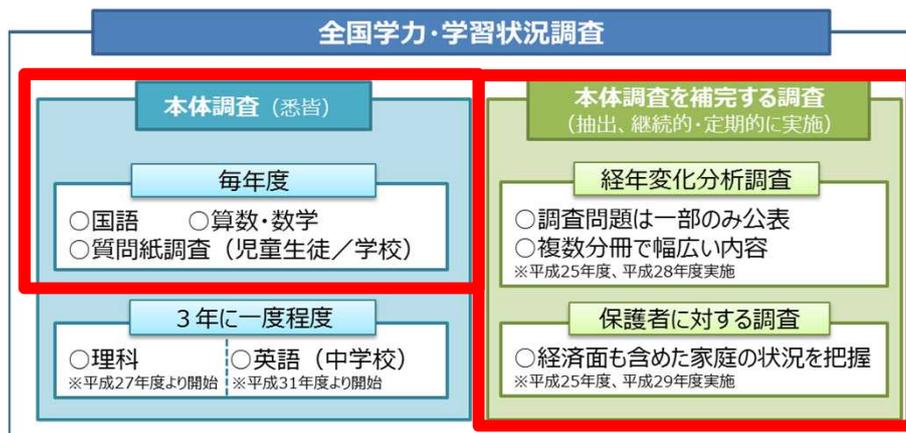
- **調査実施日：令和3年6月1日～30日の間、対象学校が実施可能な日**

※結果公表は**今年度末**の予定。

- **調査事項：**

- ① **国語、算数・数学、中学校英語**
- ② **保護者への質問紙調査（児童生徒の家庭における状況や保護者の教育に関する考え方等）**

- **調査対象：抽出された小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒とその保護者**
小学校600校程度、中学校750校程度



※赤枠は
令和3年度
実施する調査

令和3年度全国学力・学習状況調査の 参加教育委員会数・参加学校数等について (令和3年5月11日(火)時点)

参加教育委員会数：1,809

調査対象者の在籍する学校を所管する全教育委員会が参加する。

参加学校数等

国・公・私立学校 ◆参加＝29,062校

	参加校数(A)	調査対象者の 在籍する学校総数(B)	参加率(A/B)	(参考)平成31年度 調査の参加率
小学校	19,167校	19,280校	99.4%	99.4%
中学校	9,895校	10,316校	95.9%	96.0%
合計	29,062校	29,596校	98.2%	98.2%

※約105万4千人の小学校6年生、約102万8千人の中学校3年生が参加する。
※後日実施の小学校45校、中学校168校を含む。

(内訳)

国立学校 ◆参加＝155校

	参加校数(A)	調査対象者の 在籍する学校総数(B)	参加率(A/B)	(参考)平成31年度 調査の参加率
小学校	75校	75校	100%	100%
中学校	80校	80校	100%	100%
合計	155校	155校	100%	100%

※後日実施の小学校3校、中学校2校を含む。

公立学校 ◆参加＝28,440校

	参加校数(A)	調査対象者の 在籍する学校総数(B)	参加率(A/B)	(参考)平成31年度 調査の参加率
小学校	18,965校	18,965校	100%	99.9%
中学校	9,475校	9,475校	100%	99.7%
合計	28,440校	28,440校	100%	99.8%

※後日実施の小学校37校、中学校133校を含む。

私立学校 ◆参加＝467校

	参加校数(A)	調査対象者の 在籍する学校総数(B)	参加率(A/B)	(参考)平成31年度 調査の参加率
小学校	127校	240校	52.9%	54.9%
中学校	340校	761校	44.7%	48.9%
合計	467校	1,001校	46.7%	50.3%

※後日実施の小学校5校、中学校33校を含む。

教育委員会数・学校数・児童生徒数は、令和3年5月11日(火)時点のものであり、調査日当日まで、増減する可能性がある。

調査実施日は5月27日(木)、6月30日(水)まで後日実施が可能であり、後日実施の場合、全体の集計からは除外するが、採点及び調査結果の提供を行う。

平成31年度調査の参加率は最終的な実績である。

公立学校には、公立大学附属学校を含む。

後日実施の主な理由は、遠足(旅行)・集団宿泊的行事(修学旅行等)などの学校行事等。

令和3年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査における端末を活用したオンラインによる実施について

概要

令和3年度全国学力・学習状況調査において、児童生徒質問紙調査を、一部の国立大学附属学校（小中学校100校程度）において、PC・タブレット等の端末を活用したオンラインによる回答方式で試行的に実施。（学校質問紙調査については、平成28年度からオンラインによる回答方式で実施。）

<実施の様子>



[代表撮影]



<一部の実施校からの声>

①児童生徒の反応・様子

○児童生徒の声

- ・「マークシートを塗りつぶさなくてよいので楽だった」「新鮮だった」「楽しかった」「回答しやすかった」
- ・「達成感がない」「チェック用の丸が小さかった」

○児童生徒の様子

- ・混乱はなく、興味を持って入力していた
- ・端末操作に慣れている児童が多く、スムーズであった
- ・紙での回答より速やかに回答できた（ページをめくる必要がない、紙より見直しや訂正等の操作が迅速等）

②メリットを感じた点

- ・回答用紙を回収する手間が省けた
- ・紙を使用しないので、環境にも良い

③改善した方がよいと考えられる点

- ・初めてのことで、事前の設定や操作確認に手間がかかった
- ・操作に手間取り、なかなかログインできなかった児童がいた

④今後に向けて必要と考えられる点

- ・普段から端末の活用に慣れていることが必要ではないか
- ・ネットワーク等のトラブルが生じた場合の対応など、教職員の端末等に関する一定のスキルが必要ではないか

<回答画面イメージ>

令和3年度全国学力・学習状況調査 小学校第6学年 児童質問紙

1 あなたは、生活の中で次のようなことをしていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。

(1) 朝食を毎日食べている

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている

- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きている

- 1 している

- 今年度の実施における課題や改善点等について把握・検証。
- 来年度以降、端末を活用したオンラインによる回答方式について、対象学校数の拡大に向け検討。